

じいん 生活

京都・東本願寺の学び宿「同朋会館」情報誌

第3号

密着！奉仕団24時

さあ、日常から 抜け出そう

東本願寺に泊まって生活体験をしながら “見て・聞いて・感じて” 語り合いませんか

見て聞いて **じいん**

1泊コース

初日11:00～2日目15:30

参加費用 (1人)
10,000円+白米1.2kgまたは800円

もっと深く **じいん**

2泊コース

初日11:00～3日目13:00

参加費用 (1人)
15,000円+白米2kgまたは1,300円

参加形態

家族や親戚、友人、お寺・地域・サークルや部活動、ゼミやクラス、同窓生、職場の仲間や団体など。日程中は僧侶が生活をサポートします。

※5名以上での参加が基本となります。

日程の主な内容

御堂参拝・法話・座談(語り合い)・朝夕のおつとめ・境内の清掃・諸殿拝観・渉成園参観 など。

※宿泊期間は月によって異なります。

※期間中の日程は、ご要望に沿って編成します。

個人で参加出来る **じいん生活**



お寺や親鸞に初めて触れる方におすすめ

東本願寺に泊まって学ぶ **親鸞講座**

1月下旬
10月上旬
(計2回)

社会人向け



デカイ仏具をピカピカに

おみがき 奉仕団

3月上旬
11月上旬
(年2回)

内職系



お年頃な疑問をふっちゃけトーク!

中学生・高校生 奉仕団

3月下旬
8月下旬
(年2回)

アクティブ系



仏教音楽の奏でを感じて語り合う

春の法要 奉仕団

4月上旬

法要参拝系



鎌倉時代の僧「親鸞」の足跡を辿る

親鸞聖人

御旧跡参拝

奉仕団

4月下旬
もしくは
5月中旬
(不定期)

旅系



夏休みは東本願寺に泊まろう

子ども 奉仕団

7月下旬
から
8月中旬
(2~4回)

アクティブ系



親鸞の命日に響く伝統儀式を目の当りに

報恩講

奉仕団

11月下旬
(計3回)

法要参拝系



古都の年末の風物詩

お煤払い 奉仕団

12月下旬

アクティブ系

！ 只今 絶賛募集中 ！

ほうおんこう 報恩講 奉仕団 全3期間

- 第1期 2016年 11月 20日(日)～22日(火)
第2期 11月 24日(木)～26日(土)
第3期 11月 27日(日)～29日(火)

1泊コース 初日 11:00 ～ 最終日 16:00 まで
参加費 10,000円 + 白米1.2kg または 800円

以下の期間よりお選びください

- 第1期 11月 20日(日)～21日(月)
第2期 11月 24日(木)～25日(金)
第3期 11月 27日(日)～28日(月)

2泊コース 初日 11:00 ～ 最終日 13:00 まで
参加費 15,000円 + 白米 2kg または 1,300円

以下の期間よりお選びください

- 第1期 11月 20日(日)～22日(火)
第2期 11月 24日(木)～26日(土)
第3期 11月 27日(日)～29日(火)

※定員になりました

申し込み期限

2016年 10月 14日(金)迄



報恩講は、浄土真宗の宗祖 親鸞聖人のご命日を縁として、11月21日から28日まで8日間かけて勤められる法要です。

特に最終日は、僧侶が前後左右に大きく体を揺らす「坂東曲」での法要が圧巻！

ぜひ、東本願寺に宿泊し、伝統ある法要儀式にご参拝ください。親鸞聖人のことをもっと知りたくなること間違いなし！



春の法要奉仕団

2017年 4月 1日(土)～3日(月)

1泊コース 4月1日 11:00 ～ 4月2日 16:00 まで
参加費 10,000円 + 白米1.2kg または 800円

2泊コース 4月1日 11:00 ～ 4月3日 13:00 まで
参加費 15,000円 + 白米 2kg または 1,300円

申し込み期限

2017年 3月 21日(火)迄



宗祖 親鸞聖人の御誕生(4月1日)をよこごぶ親鸞聖人御誕生会(音楽法要)や、非戦・平和を誓う全戦没者追弔法会に参拝します。

特に、音楽法要は、約50年前から始まった新しい法要様式で、合唱団による歌声が魅力！

ぜひ東本願寺に宿泊し、伝統的な儀式と近代西洋音楽が融合した荘厳な法要にご参拝ください。



※いずれの奉仕団も 期限に関わらず申し込みを締切らせていただく場合がございます

密着 奉仕団 24時!!

じいん生活の真髄に迫る

て、
実際どうなのよ?!

! 奉仕団(1泊コース)に潜入調査せよ!

東本願寺の同朋会館では何が行われているのかを探り、解明すべし



1日目

結成式(開会)

2日間一緒に過ごす人がこんなにいるのか?!
…さあ! 気合いを入れてスタートだ!!

昼

昼食

まずは腹ごしらえだ…ん?! 寺なのに…ハンバーグう?!

両堂参拝

お参りは基本だな。…にしてもデカイ御堂が2つもあるのか!

オリエンテーション

自己紹介…。潜入調査だとバレないようにせねば。

夕事勤行

おつとめはお坊さんだけでなく、皆ですのものなのだな。

夜

夕食

おはなしと座談

お坊さんのおはなしを聞いたが…心が何だか温かい。“じいん”とくる。
座談では、意外と自由に喋れるんだな。…うっかり潜入調査だと話しそうになった。

お風呂・就寝

畳の部屋で雑魚寝とな。
この感覚は、修学旅行か合宿以来だ…あの頃を思い出すなあ。



2日目

朝

起床

晨朝参拝

おつとめなう。朝の空気は心地よい。あっ、足が“じい〜ん”と痺れてきた。

朝食

清掃奉仕

……清掃奉仕? なるほど、だから“奉仕”団なのか。

おはなしと座談

昼

昼食

諸殿拝観

この寺はどれだけ広いんだ?! 建物が多すぎて迷子になりそうだ。

解散式(閉会)

フーフ、もうおつとめは完璧にマスターしたぞ!

後片付け・解散

な、名残惜しい。…じい〜ん!



！取材現場に潜入せよ！

なぜ  なのかを追求すべし

取材者 西村 昌桐 (同朋会館常勤スタッフ)

対象者 西口 愛海 さん 親子
西口 久美子 さん



西村：はじめて同朋会館に来られた時、印象に残ったのはどんなところですか？

他の参加者と色々な話し合いができたところですね。
話し合いをして、他の人の話を聞いて、自分も共感したり、
法話も自分とリンクして、納得できる部分があったりしました。

久美子：後日、娘から勧められて私も一人で参加したのですが、幅広い年齢層の方たちと密に触れ合って深く話し合うという機会はなかなかないので、とても貴重な経験でした。
一緒にいる中で、押し付けられるわけでもなく、参加者一人ひとりの思いを引き出してくれるところが、すごく魅力です。

西村：同朋会館はテレビもないし、食事の準備や後片付けも自分たちですし、
布団も自分で敷くし、驚かれたんじゃないですか？

久美子：そんなことないですよ。

私たちの部屋では、布団を敷く場所をみんなで、「私ここがいい！！」って言いながら決めたりしてたんですが、それぞれ好みの場所が違って面白かったですね。
学生寮みたいな雰囲気、居心地よかったし、もうちょっといたいなとも思いました。

西村：僕たちは、「サービスしないのがサービスなんです」ってよく説明しています。
現代の便利な生活からちょっと距離を置いたり、日常の当たり前のことを
みんなでやるのが大切な時間になることもあるんですよ。



西口久美子さん

そう言えば、途中から携帯電話の存在を忘れてました！
最初は「今、こんな感じ」って娘にメールしたりしたんですけどね。

愛海：そうそう！「どうしてる？」ってメールしても途中から全然返事がなかったんです！！

西村：携帯電話の存在を忘れるということは、それだけ一緒にいる人と、今という時間を共有してるってことですよな。
充実した「じいん生活」を過ごしてもらえたようで、僕たちも嬉しいです。

ところで、同朋会館に来て、何か想像と違ったな～なんてことはありましたか？

愛海：私は友達に誘われたのがきっかけだったんですが、もっと、勉強！って感じの固い感じだと思ってました。
お坊さんも、もっと話しくいお坊さんばかりだと思ってたので、意外でした。

久美子：私は、お寺に泊まったのが、同朋会館が初めてだったんです。実は、同朋会館に来た後に、
別の宿坊にも行ってみたくて。それで分かったんですが、この同朋会館って、
すごく独特です。本当に色々な人と密に触れ合えるし、色々な人が気にかけてくれて、
また戻ってきたいって思えます。

またぜひ、戻ってきてください！！
お待ちしております。



西村昌桐

調査結果

今回の奉仕団はヘーシックタイプで、まだ多種多様な奉仕団があるようだ。
心にじいん、足が痺れてじいん、ここにはたくさん「じいん」があふれている。
一度 体験してみると、人生が味わい深い「じいん生」になるかもな！

在館中

同朋会館は、
日精道料理かな？
(あのエピソードは、
Dinner)。

一日目
朝食 ウィナー
昼食 鯖煮付
夕食 エビフライ

二日目
朝食 焼魚
昼食 カレーライス
夕食 ハンバーグ

帰宅後
体重が増えている!!
ウーロン



ななほ
七歩は同朋会館周辺の
七条通りのお店やスポットを
中心に紹介していくコーナーです

第2回

京の老舗 お茶屋さん
きょうやぎょくろえん
京屋玉露園さん



創業1953(昭和28)年。

地域の人々に宇治茶を販売し、少し前までは「真宗本願
奉仕団」のタスキをつけた人々が店に訪れることも少なく
なかったとのこと。

七条通に店を構えて60年、店主の京田博且さん(写真下)
は、店の裏から聞こえるスーツケースのガラガラ音で奉仕団
の行き来を感じ、衣を着たお坊さんが通れば春と秋を、子ども
たちが通れば夏だと感じるのだそう。

子どもが多かった頃の七条通界隈。夏休みには、レコード店から音楽を流してラジオ体操を
やっていたそうだ。幼少期の京田さん自身も、東本願寺の堀で釣りをして門衛さんに竿を没収
されたり、境内で紙飛行機を飛ばして釣鐘堂の屋根に引っ掛けたり、阿弥陀堂の下に潜り込ん
だりと、境内で遊んでいた頃を懐かしくお話しいただいた。

お茶の香り漂う店内、東本願寺の掃りにホッと一息立ち寄ってみては。



京都市下京区七条通烏丸西入ル中居町114
(☎075-371-1023)



営業時間
9:00 ~ 19:30
日・祝日 お休み

無料情報誌 じいん生活 第3号

発行人：譽田 和人
発行所：東本願寺 同朋会館(真宗大谷派宗務所 研修部)
所在地：〒600-8308
京都市下京区七条通新町東入ル新シ町 121
TEL 075-371-9185 FAX 075-371-9201
発行回数：年2回(2018年秋まで)
U R L : <http://higashihonganji.or.jp/worship/dobo/>
M a i l : dobokaikan@higashihonganji.or.jp



同朋会館は2018年にリニューアルします

新しい作りが数あるにあたって、同朋会館の魅力を伝えていくために発行しています。
みなさまの応援をお待ちしております。



Facebook はじめました!
東本願寺 同朋会館